

地域連携紹介(PET)のながれ



- 病院HPよりPET検査問診票などのPET関連資料 (計6枚)をダウンロード
 - ①PET/CT検査問診票
 - ②PET/CT検査 保険適用疾患チェック
 - ③PET検査の概要
 - ④PET検査を受けられる方へ (患者様用)



- “③PET検査の概要” を使用し事前に患者様に検査説明
- “① PET/CT検査問診票” “②保険適用疾患チェック用紙” に記入



- 連携医より地域医療連携課に連絡。
紹介状および、 “①PET/CT検査問診票” “②保険適用疾患チェック” をFAX



- 連携課より予約票を連携医にFAX



- 連携医は患者様へ予約票、紹介状(原本) および “①PET/CT検査問診票(原本)” “②保険適用疾患チェック(原本)” を渡す。



- 患者様は予約日に**予約票、紹介状 (原本)** および “①PET/CT検査問診票(原本)” “②保険適用疾患チェック(原本)” をもって来院

※本紙は事前に紹介状と共にお送り下さい

【担当医師と下記の質問にお答え下さい】

1) 糖尿病はありますか？ いいえ はい

『はい』の方は、現在の治療法についてお答え下さい。○印をつけてください。

(・無治療 ・食事運動療法 ・飲み薬 ・インスリン)

2) 持続血糖測定器 (リブレプロ、ipro2等) を装着していますか？ いいえ はい

『装着されている場合』は検査時に外して検査を受けて頂きます。

以下の項目にチェックをお願いします。

検査当日患者自身で外します (装置は持ち帰ります)

事前に外した状態で来院します。

3) 体内にペースメーカーなど金属はありませんか？ いいえ はい

4) 1週間以内にバリウム検査を受けていますか？ いいえ はい

※ バリウムが残っている場合、検査できません。

5) 閉所恐怖症 ありますか？ いいえ はい

『はい』の方は、検査当日までに当院検査室まで見学に来て頂きますようお願いいたします。

見学時に検査中の場合は待ち時間が発生することがあります。

6) 安静が守れない等、付き添いが必要ですか？ いいえ はい

※ 安静困難である場合は検査出来ない場合があります。

7) 現在の身長・体重をご記入下さい (_____ cm _____ kg)

☆女性の方へお聞き下さい

8) 現在、妊娠またはその可能性がありますか？ いいえ はい

※ 『はい』の方は検査できません。

・現在、授乳中ですか？ いいえ はい

・現在、生理中ですか？ いいえ (最終月経 _____ 月 _____ 日) はい 閉経した

●検査説明、問診を受け、PET/CT検査を受けることに同意します。

患者または代理人署名 _____

※検査2-3日前に当院より検査日、注意事項などの確認の電話をさせていただきます

※日中つながりやすい番号をご記載下さい。

電話ご希望時間 昼12-13時 / 夕刻16-17時

ご確認連絡先 (自宅 / 携帯 / その他) _____

●以上、確認しました

問診担当医師名 _____

令和 _____ 年 _____ 月 _____ 日

②PET/CT検査 保険適用疾患チェック

疾患名	適応要件	チェック
てんかん	難治性部分てんかんで外科切除が必要とされる患者に使用する	
心疾患	<ul style="list-style-type: none"> ・ 虚血性心疾患による心不全患者における心筋組織のバイアビリティ診断（他の検査で判断がつかない場合に限る） ・ 心サルコイドーシスの診断（心臓以外でサルコイドーシスと組織診断され、かつ心臓病変を疑う所見を認める場合に限る） ・ 心サルコイドーシスにおける炎症部位の診断 上記診断が必要とされる患者に使用する	
悪性腫瘍 （早期胃癌を除き悪性リンパ腫を含む）	他の検査又は画像診断により病期診断又は転移もしくは再発の診断が確定できない患者に使用する ※保険適応症例の選択基準 (a) 病理組織学的に悪性腫瘍と確認されている患者であること (b) 病理診断により確定診断が得られない場合は、臨床病歴、身体所見、PETあるいはPET/CT以外の画像診断所見、腫瘍マーカー、臨床的経過観察、などから臨床的に高い蓋然性をもって悪性腫瘍と診断される患者であること ※FDG PET,PET/CT診療ガイドライン2020 日本核医学会より	
高安動脈炎等の大型血管炎	他の検査で病変の局在又は活動性の判断のつかない患者に使用する （不明熱の鑑別診断や疑い症例での診断目的の検査は適用にならない）	

※ 右側のチェック欄に印をつけ、**問診票と共にお送り下さい。**

※2021.8作成

※ 上記いずれかの適用要件を満たさない場合は全額自費検査となります。

ご不明な点があれば当院までご連絡頂きますようお願い致します。

《連絡先》 電話：0776-36-4110 FAX：0776-36-0240（地域医療連携課）

③PET検査の概要

医師から患者様への
説明にご活用ください

■ PET検査とは

PET検査とは放射線を出す物質を含んだくすりを注射し、そこから出る放射線をPET装置で検出することにより、体内分布を画像化して病気を診断する検査で、生体機能の『はたらき』を画像化します。

■ PET検査薬の体内分布原理

がん細胞は、正常細胞より糖代謝が活発なため、正常な細胞の3～8倍ものブドウ糖を取り込みます。検査薬はブドウ糖と同様にとりこまれるため、体内で集積が強いところにがん細胞があることがわかります。

■ PET検査で何がわかるのか

- ① 病巣が悪性か良性かの判断
- ② 転移があるかどうか、あるとすればどこまで広がっているのか
- ③ 治療後の再発がないかどうか
- ④ 病巣が治療に反応しているかどうかを調べ、治療法や治療範囲を決めるのに役に立つ

■ 検査の限界

FDGは糖代謝の盛んな脳や心臓に強く集積します。また尿中に排泄されるため腎臓や尿管、膀胱は苦手部位となります。また、検査装置の性能上、1cmより小さな病変は検出困難です。

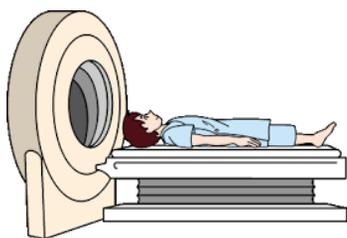
■ 被ばくについて

放射性医薬品を使用しているため、放射線被ばくがあります。検査に使用する¹⁸F-FDGは放射線量が半分となるのが110分と短いため、PET・CTとあわせても、およそ3～8mSv程度と被ばくは比較的少なく、安心して検査を受けて頂けます。

医療被ばくガイドライン（DRL2020）及び当院の実投与量とそこから算出した被ばく線量の比較

薬剤名	DRL2020		当院
	18F-FDG	実投与量(MBq)	240
	被ばく線量(mSv)	4.56	3.69～6.59

※当院のPET検査はデリバリーのため投与量が高くなっておりませんが、検査全体としては被ばくは少ないため安心して検査を受けて頂けます。



④ PET 検査を受けられる方へ

検査2-3日前に、当院放射線科外来より検査日、注意事項などの最終確認の電話連絡をします。

ご連絡時間帯：昼12～13時 夕刻：16～17時

《発信元の番号》代表 0776-36-3630 放射線科外来より

※検査は完全予約制となっています。予約時間には余裕をもってご来院下さい。

【検査前日、当日の食事について】

- ・**検査前6時間は絶食**でお願いします。
- ・ガムを噛んだり、あめなどの**糖分も禁止**です。
- ・飲み物は、6時間前から**水・白湯**だけにして下さい。

ご飯を食べると
検査ができません

お菓子類
も禁止です



検査の時間	夕食	朝食	飲み物
8:30～12:00	前日の21時までにご すませて下さい	当日は食べないで 下さい	水・白湯は飲んでも 構いません (お茶、ジュース類は×)

【糖尿病患者様の内服薬について】

- 糖尿病で、血糖降下薬ならびにインスリン注射を行っている方は、**検査当日の使用は中止して下さい。** 但し中止の判断が難しい場合は、予め主治医とご相談下さい。
- 前日インスリン注射を行っている場合には、念のために砂糖（ブドウ糖）をご持参下さい。
- 血糖降下薬以外の内服薬は通常通り内服して下さい。
※ただし、水・白湯で内服して下さい。

[持続血糖測定器を装着されている方の検査]

放射線の照射により内部データが**破損**するため、
PET/CT検査を受ける際には**外して下さい**。

【血糖値の確認】

- 画像診断の際に血糖値の情報が必要な場合があります。

ご自身で測定可能な患者様には、検査室にて直近の血糖値を確認させていただきます。

また、検査時の画像から血糖値の測定が必要と判断された場合には検査室の方で血糖値を測定させて頂く場合があります。

【バリウム検査の確認】

- PET検査の1週間にバリウムの検査を受けられた方は、検査前日までにお申し出下さい。

※残っているバリウムの状態により、検査ができない場合があります。

【体内に金属がある方】

- ペースメーカー装着以外でも手術で体内に入っている金属等がございましたら問診時にお答え下さい。

【閉所恐怖症の方】

- 検査前日までに検査が出来るかどうか、あらかじめ当院にご来院頂き撮影装置の見学をお願いします。

【安静保持困難の方】

- 30分以上あおむけになれない方は検査を依頼される医師等にご相談下さい。

【その他注意事項】

- 当日に採血・注射等を受けると検査に影響しますので、他科に受診予定がある場合は、地域医療連携課のスタッフにお知らせ下さい。PET検査後に実施とすることがあります。

検査の流れ

(所要時間約2～3時間程度)

※検査内容によって変わります。

中央受付



放射線科外来 S13



受付21番へ



問診 検査説明



検査薬注射



安静待機(60分)



撮影(20分～30分)

※1度目の撮影終了後に、必要に応じて、2度目の追加撮影をする場合があります。また追加撮影の案内は1度目の撮影が終了してからとなります。

【検査終了後】

- ・ 検査に使用した薬剤は尿中に排泄されます。体内からできるだけ早く排泄させるため、検査後は水分をよくとって下さい。
- ・ 検査終了後も身体に微量の放射線性物質が残存する為、当日は人ごみをなるべく避け、乳幼児や妊産婦との接触をできるだけお控え下さい。
授乳されている方は、24時間授乳を中止して下さい。(FDGスキャン 添付文書より抜粋)

【PET-CT検査の費用について】

約3万円程度 保険適用(3割負担)の場合

【キャンセルをする場合】

都合により検査を受けられない場合は、

前日の13時までに下記に必ずご連絡下さい。

検査に使用する薬剤は、特殊な薬剤の為、当日のキャンセルは実費相当のキャンセル料が発生する場合がありますのでご注意下さい。

【連絡先】

0776-36-3630(代表)

平日:8時30分～17時 地域医療連携課
内線(6335)

時間外及び土・日・祝日:当直診療放射線技師
内線(4020)



日本赤十字社

福井赤十字病院

Japanese Red Cross Fukui Hospital